

障害者福祉に関するアンケート 結果（概要版）

平成29年6月
安 城 市

◆調査の目的

この調査は、本市にお住まいの障害のある方や難病の方に、生活状況や意見・要望等をお聞きし、「第5期安城市障害福祉計画」策定のための基礎資料とすることを目的として行いました。

◆調査方法等

区 分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	障害児
調査対象者	18歳以上の身体障害者手帳所持者	18歳以上の療育手帳所持者	18歳以上の精神障害者保健福祉手帳又は自立支援医療受給者証(精神通院)所持者	特定医療費(指定難病)受給者証所持者	18歳未満の障害者手帳所持児童又は児童発達支等のサービスを利用している児童
配布・回収	郵送配布・郵送回収				
調査基準日	平成29年2月1日				
調査期間	平成29年2月14日～2月28日				

障害が重複している場合は、原則として、精神>知的>身体の順位としました。

◆回収結果

区 分	身体障害者	知的障害者	精神障害者	難病患者	障害児	合 計
配 布 数	450	300	400	125	225	1,500
回 収 数	292	187	215	81	149	924
有効回答数	288	185	214	80	148	915
有効回答率	64.0%	61.7%	53.5%	64.0%	65.8%	61.0%

◆集計・分析にあたって

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出しました。したがって、複数回答の設問については、すべての比率を合計すると100%を超えます。
- (2) 回答率(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しました。
- (3) 性別、年齢、身体障害の種類、障害支援区分等の属性不詳があるため、全体の回答数と属性別の回答数の合計が一致しない場合があります。
- (4) 本調査における障害名の略称は下表のとおりとしました。

障 害 名	略 称
聴覚障害・平衡機能障害、音声・言語・そしゃく機能障害	聴覚障害
肢体不自由(上肢のみ)	上肢障害
肢体不自由(下肢のみ)	下肢障害
肢体不自由(上肢・下肢両方、体幹を含む)	体幹障害

- (5) 選択肢が長いものや各調査の選択肢が類似しているものについては、内容を損なわない範囲内で、要約して表記しているものがあります。

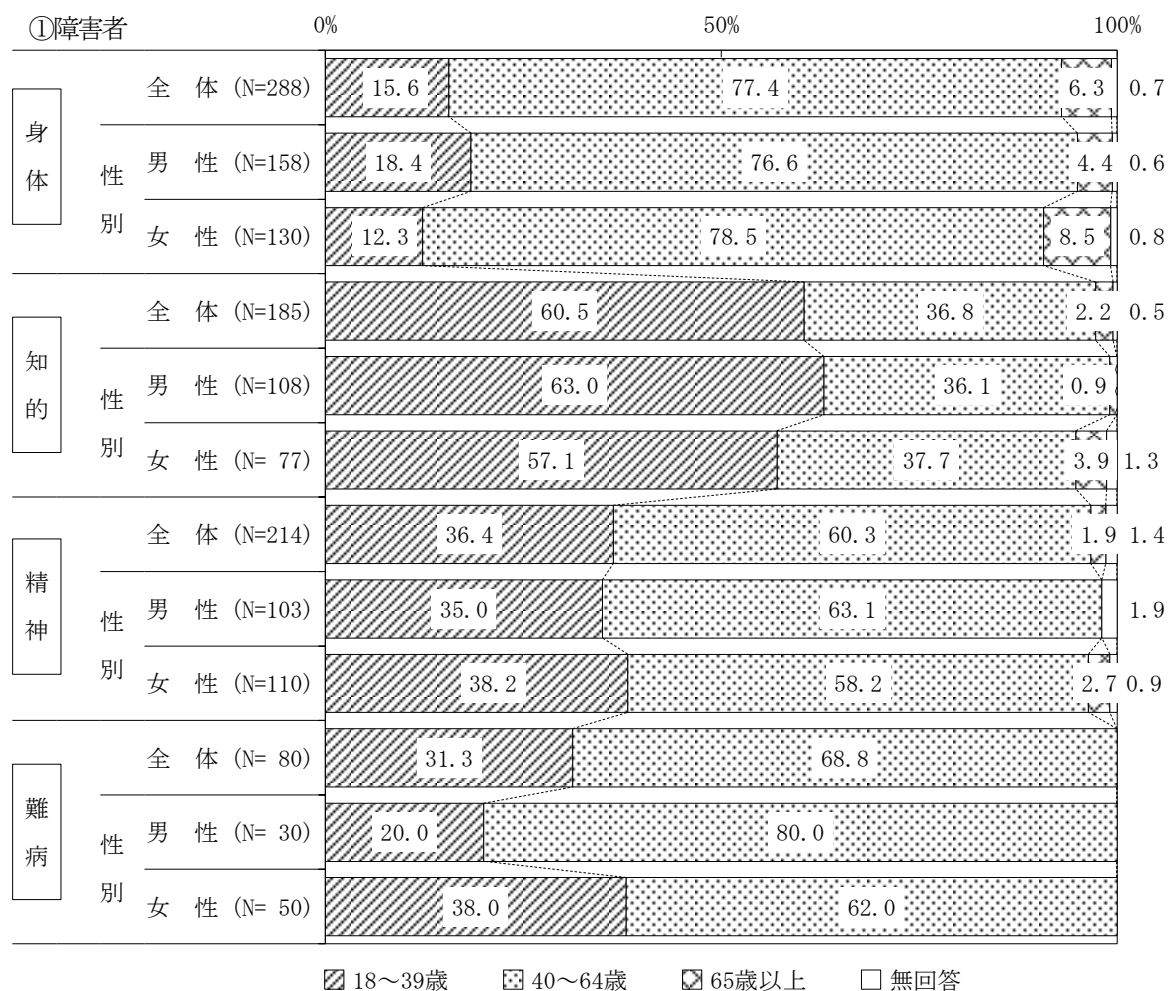
調査結果の概要

1 基本属性

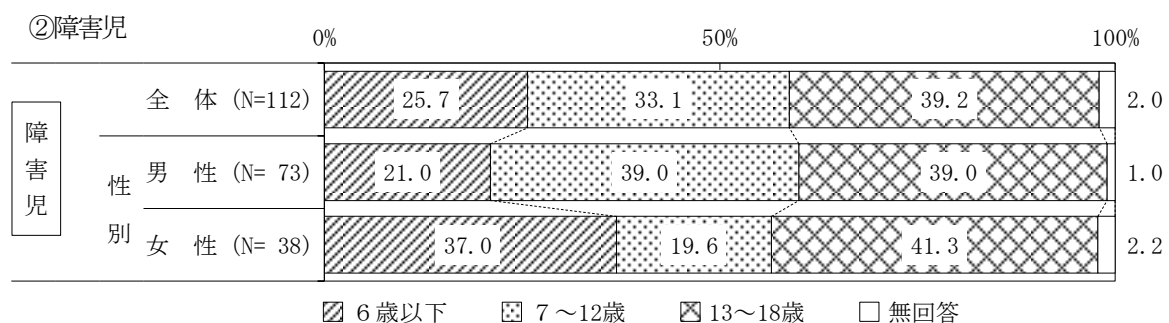
(1) 年齢

回答者の年齢は次のとおりです。なお、障害児の年齢については、概ね「6歳以下」は就学前児童、「7～12歳」は小学生、「13～18歳」は中高生となります。

図表1 性・年齢



(注) 身体障害者においては65歳以上が60%以上を占める状況にあること、介護保険事業計画のための調査の対象と重複することなどから、今回の調査では65歳以上の割合を下げて対象者を抽出しました。このため、実際の手帳所持者の年齢構成とは異なっています。



(2) 障害者手帳

回答者が所持している障害者手帳や医療の受給者証は図表2のとおりです。また、所持している障害者手帳の等級（程度）は図表3のとおりです。

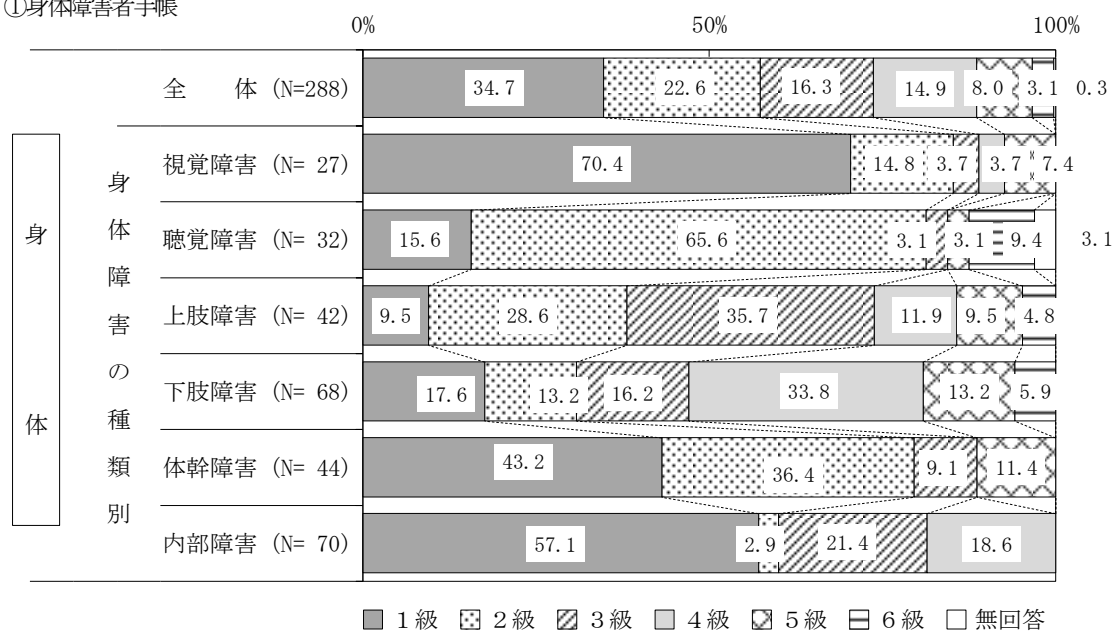
図表2 障害者手帳等の有無（複数回答）

単位：Nは人、他は%

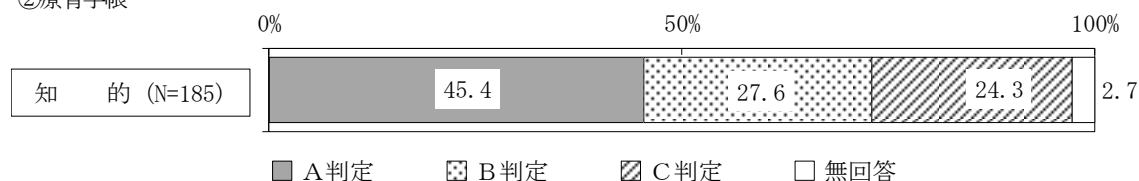
区 分	N	身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	自立支援医療受給者証（精神通院）	特定医療費（指定難病）受給者証	持っていない（障害児のみ）	無回答
身体障害者	288	100.0	6.6	1.0	2.4	6.9		-
知的障害者	185	17.3	100.0	1.1	4.3	2.2		-
精神障害者	214	3.3	1.9	42.1	90.2	0.9		0.9
難病患者	80	1.3	-	-	2.5	100.0		-
障害児	148	21.6	64.2	9.5	7.4	2.0	12.2	0.7

図表3 障害者手帳の等級

①身体障害者手帳



②療育手帳



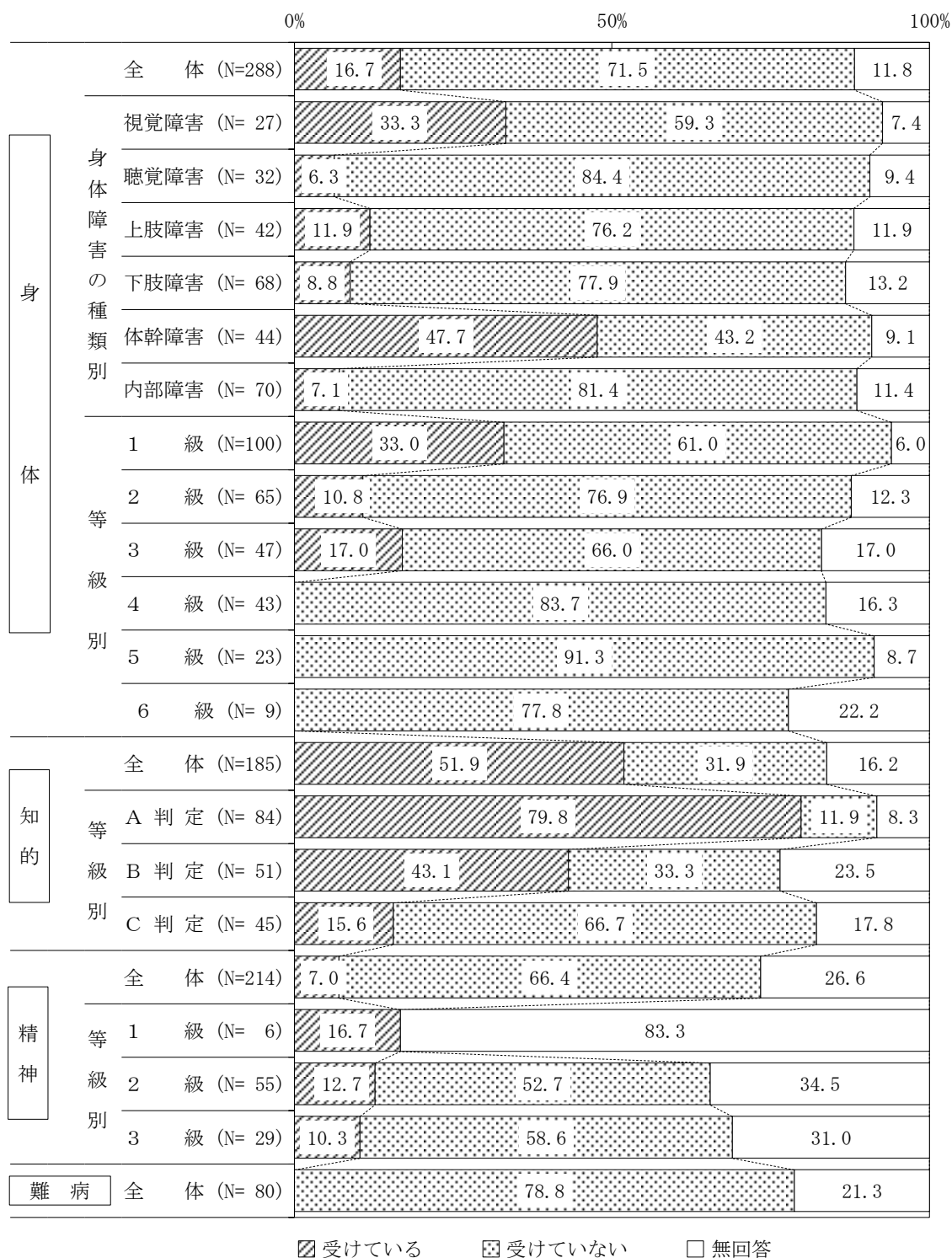
③精神障害者保健福祉手帳



(3) 障害支援区分認定

障害者総合支援法の障害支援区分認定を「受けている」と答えた人は、身体障害者が16.7%、知的障害者が51.9%、精神障害者が7.0%となっています。知的障害者が高く、特にA判定は約80%となっています。

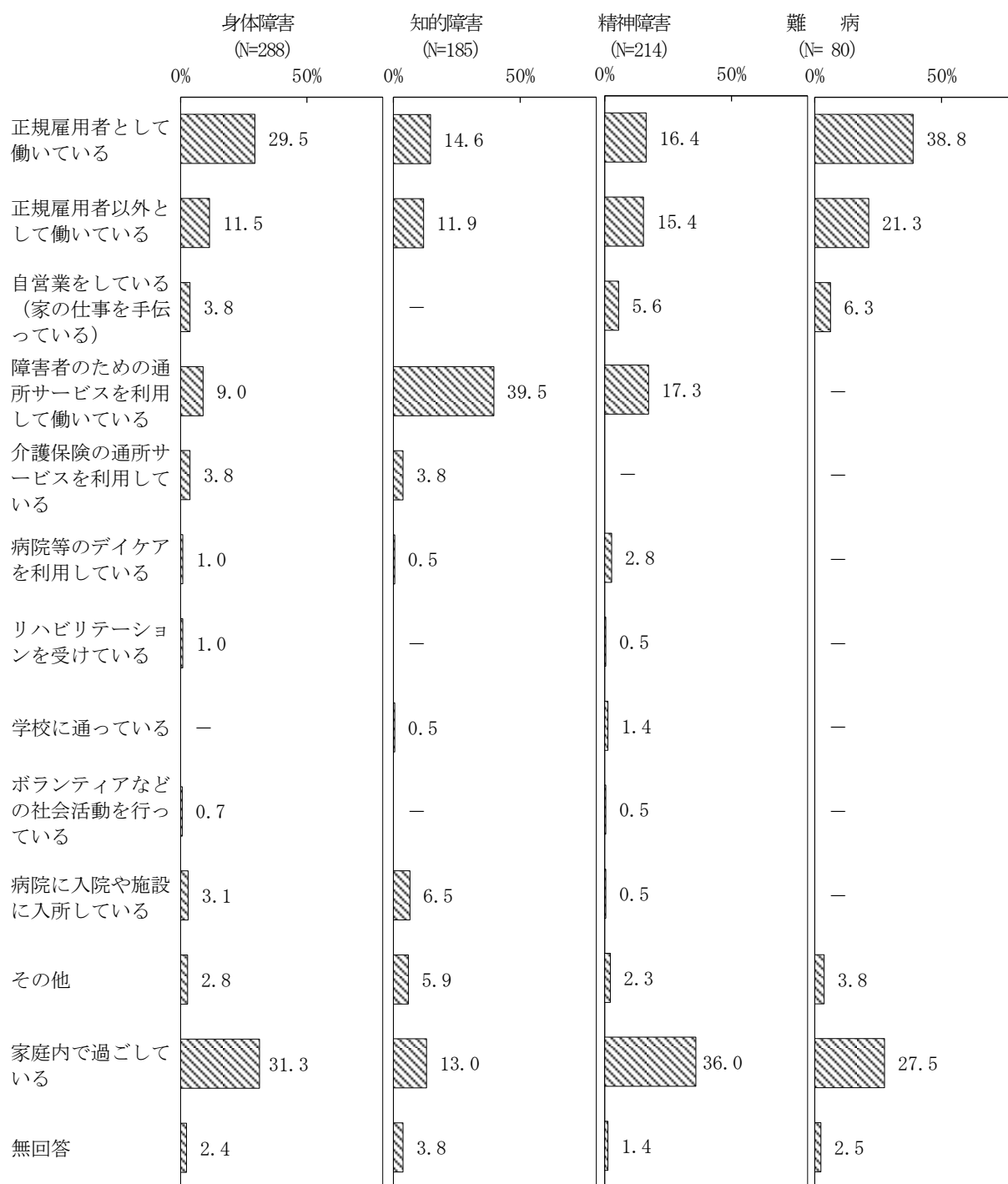
図表4 障害支援区分認定を受けているか



2 日中の過ごし方

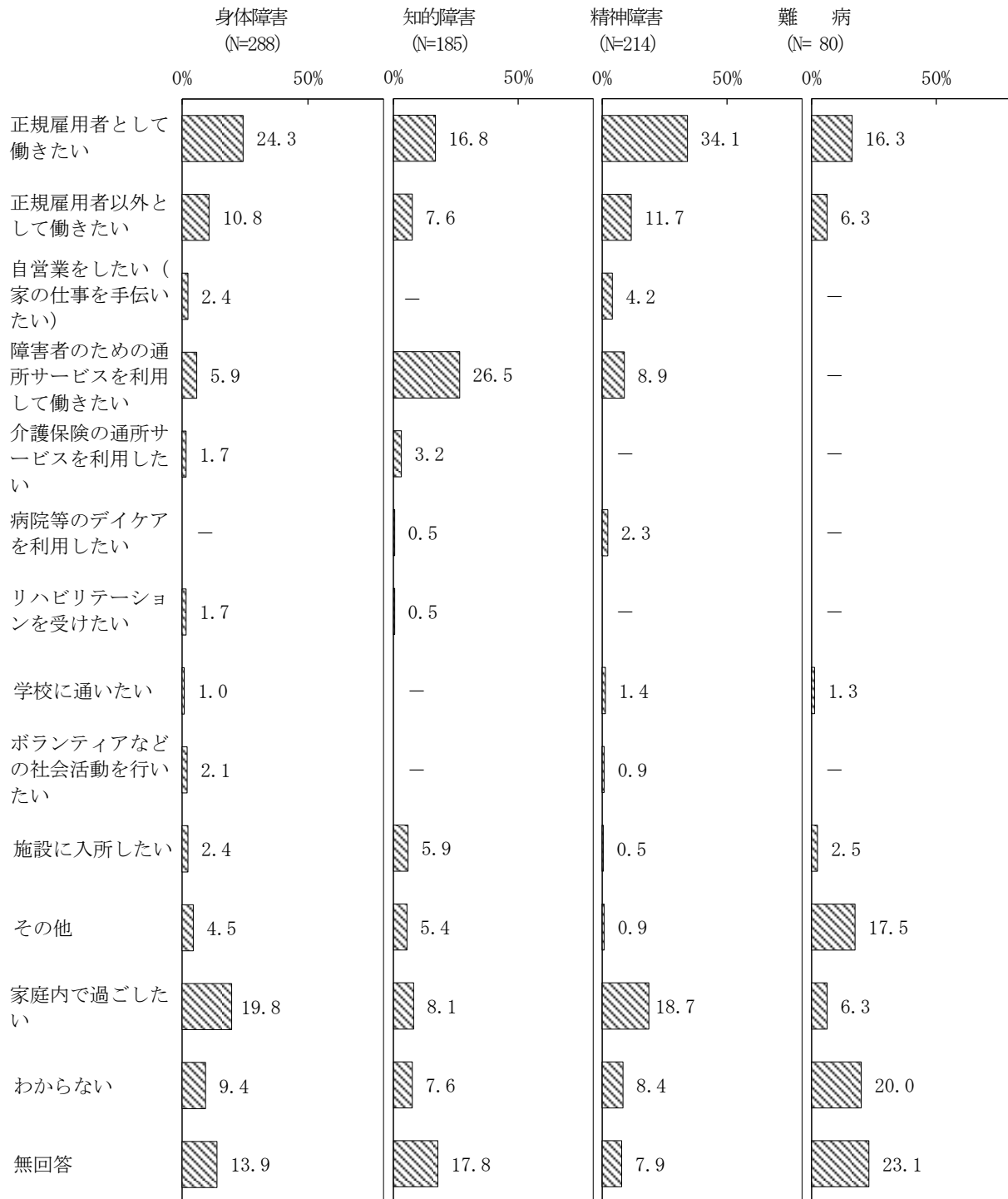
現在の日中の過ごし方は、身体障害者、精神障害者では「家庭内で過ごしている」が最も高く30%以上です。身体障害者は「正規雇用者として働いている」「正規雇用者以外として働いている」を合計したく雇用者として働いている>は40%を超えています。精神障害者もく雇用者として働いている>は30%以上ですが、「障害者のための通所サービスを利用して働いている」も17.3%あります。知的障害者は「障害者のための通所サービスを利用して働いている」が39.5%と最も高く、難病患者はく雇用者として働いている>が約60%あります。

図表5 現在の日中の過ごし方



今後の日中の過ごし方の希望をみると、「わからない」「無回答」が高く、全般的に割合が下がる傾向にあります。現在より割合が非常に高くなっているのは精神障害者の「正規雇用者として働きたい」で、倍増しています。そのほか、知的障害者の「正規雇用者として働きたい」、難病患者の「施設に入所したい」「その他」が高くなっています。

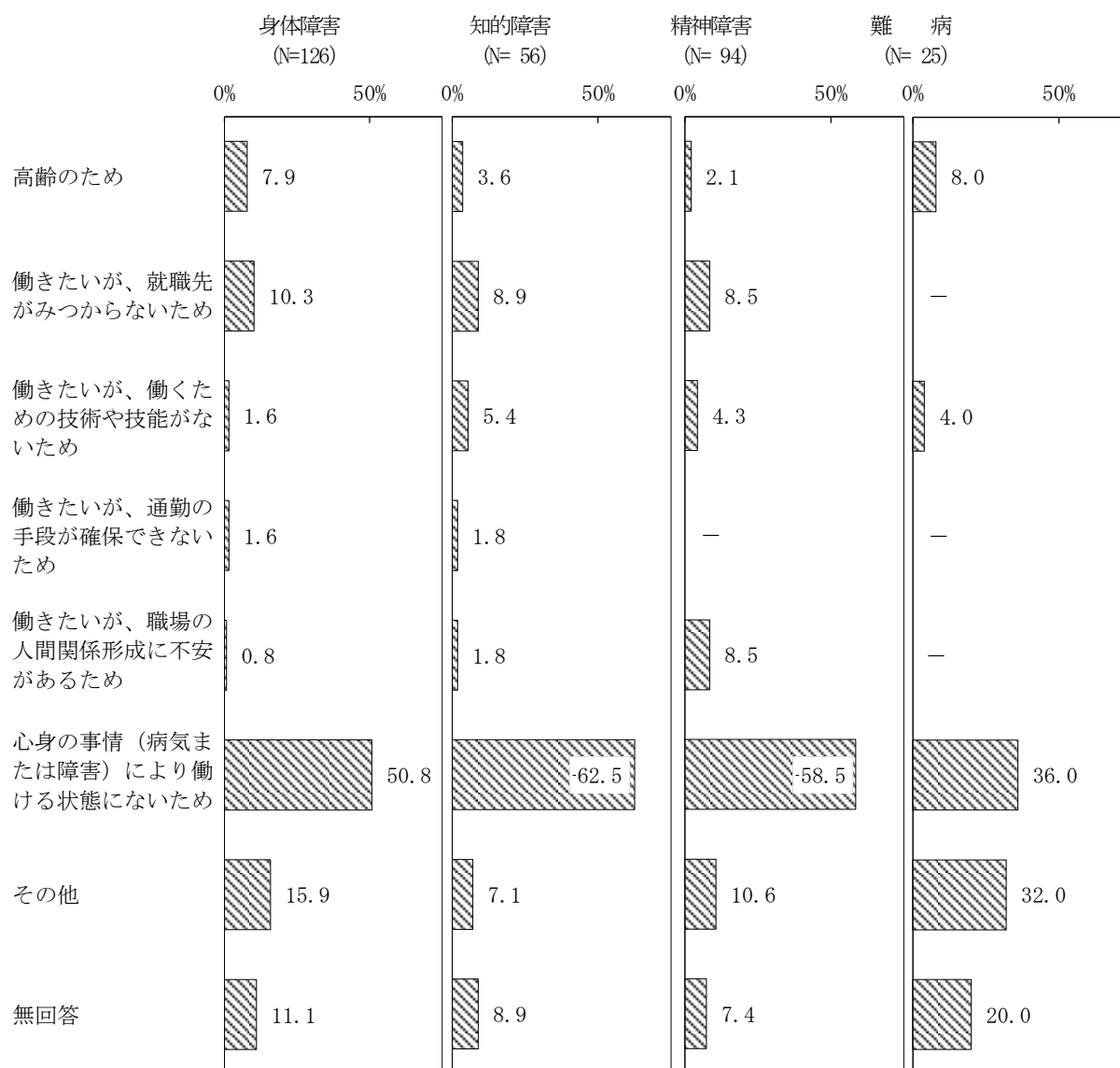
図表6 今後の日中の過ごし方



3 働いていない理由

現在働いていない人にその理由をたずねたところ、いずれの障害者も「心身の事情（病気または障害）により働ける状態にないため」が最も高くなっています。

図表7 働いていない理由



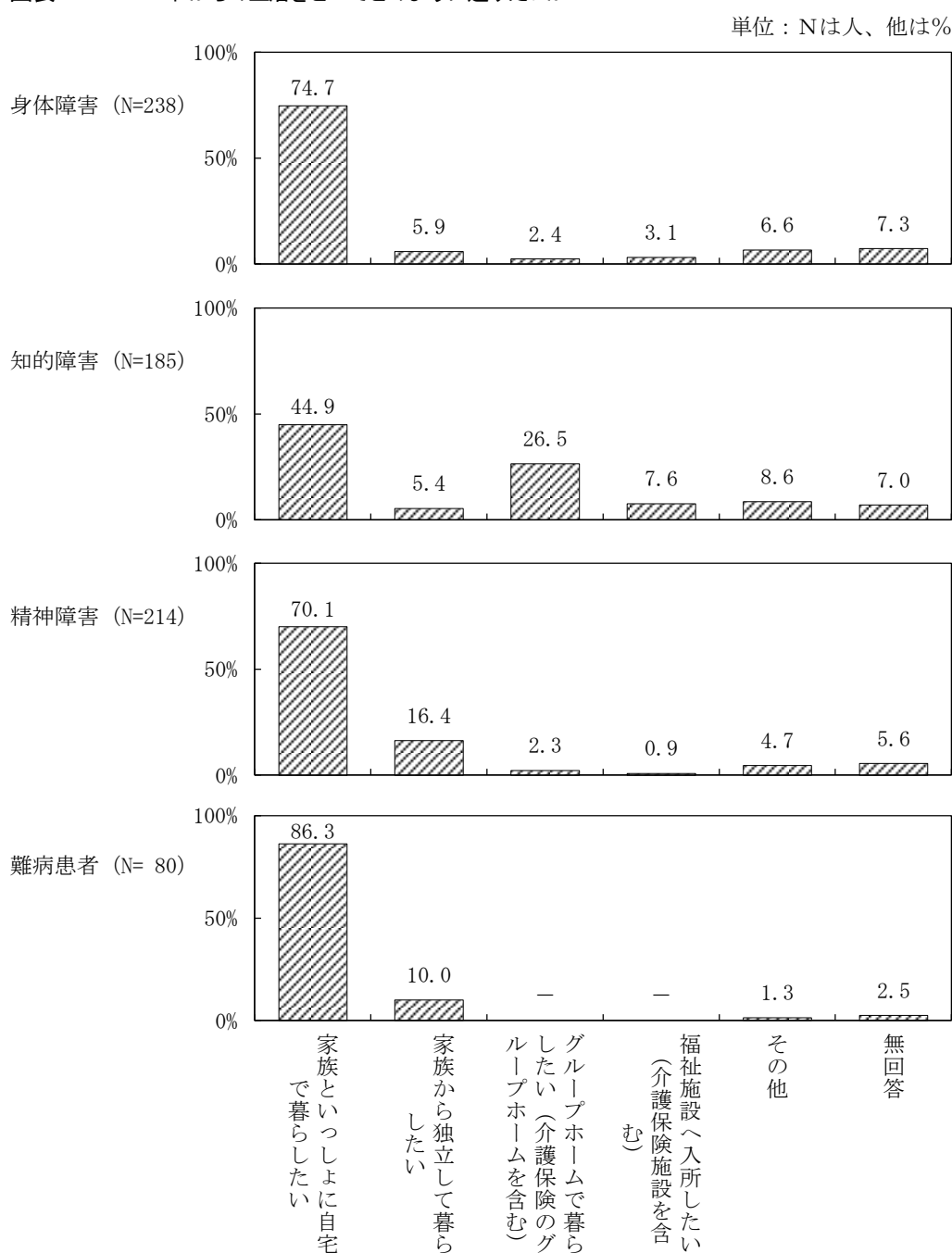
4 これからの生活

(1) これからの生活

これからの生活については、いずれの障害者も「家族といっしょに自宅で暮らしたい」が最も高く、特に難病患者では80%を上回っています。そのほか、知的障害者は「グループホームで暮らしたい」が26.5%と高く、「福祉施設に入所したい」も他の障害に比べて高くなっています。精神障害者は「家族から独立して暮らしたい」が比較的高くなっています。

「グループホームで暮らしたい」と回答したのは、身体障害者が5.9%（7人）、知的障害者が26.5%（49人）、精神障害者が2.3%（5人）となっています。

図表8 これからの生活をどこでどのように送りたいか



(2) グループホームの入居時期

前項で「グループホームで暮らしたい」と答えた人に、いつ頃からホームに入居したいかをたずねたところ、「すぐにでも入居したい」は知的障害者が1人、「1～2年後に入居したい」は知的障害者が2人となっています。知的障害者では、「親などが介助できなくなったら入居したい」が18人と多くなっています。

図表9 グループホームの入居時期

単位：人

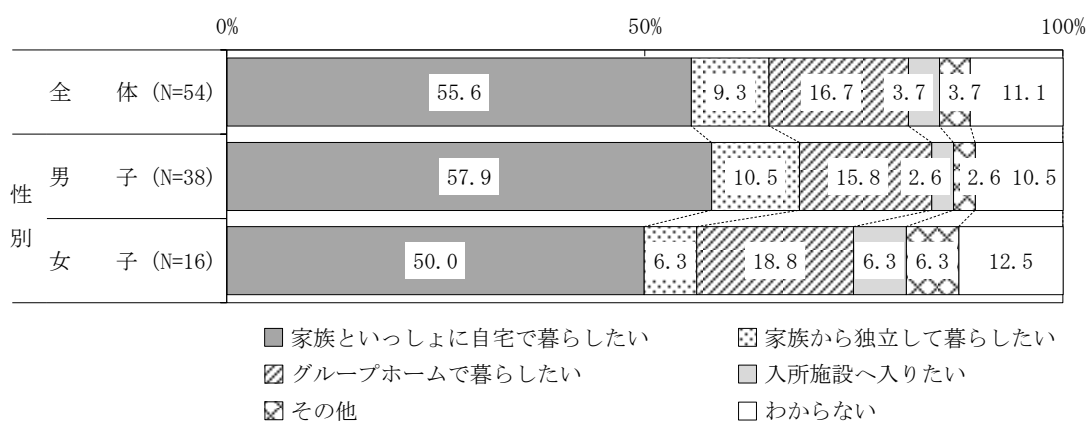
区 分				N	現在入居している	すぐにでも入居したい	1～2年後に入居したい	3～4年後に入居したい	5年以上後に入居したい	親などが介助できなくなつたら入居したい	その他	無回答
身 体	全 体			7	-	-	-	1	2	2	1	1
	年 齢 別	18 ～ 39 歳	3	-	-	-	1	-	-	1	-	1
		40 ～ 64 歳	4	-	-	-	-	2	2	-	-	-
		65 歳 以 上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	身体障害の種類別	視 覚 障 害	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		聴 覚 障 害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		上 肢 障 害	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		下 肢 障 害	2	-	-	-	-	1	-	-	-	1
		体 幹 障 害	4	-	-	-	1	1	1	1	-	-
内 部 障 害		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
知 的	全 体			49	19	1	2	3	6	18	-	-
	年 齢 別	18 ～ 39 歳	26	6	1	2	3	6	8	-	-	-
		40 ～ 64 歳	22	13	-	-	-	-	9	-	-	-
		65 歳 以 上	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
	等 級 別	A 判 定	30	11	-	2	3	3	11	-	-	-
		B 判 定	15	7	1	-	-	1	6	-	-	-
C 判 定		4	1	-	-	-	2	1	-	-	-	
精 神	全 体			5	-	-	-	1	1	2	1	-
	年 齢 別	18 ～ 39 歳	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		40 ～ 64 歳	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-
		65 歳 以 上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	等 級 別	1 級	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-
		2 級	2	-	-	-	1	1	-	-	-	-
		3 級	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
		手 帳 な し	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
難 病			-	-	-	-	-	-	-	-	-	

5 卒業後の生活

中学校・中部、高等学校・高等部に通学している人に、「高等学校・高等部卒業後、どこで暮らしたいとお考えですか」とたずねたところ、55.6%が「家族といっしょに自宅で暮らしたい」と答えています。「家族から独立して暮らしたい」は9.3%（5人）、「グループホームで暮らしたい」は16.7%（9人）となっています（図表10）。

なお、「グループホームで暮らしたい」と答えた9人の入居の希望時期は図表11のとおりです。

図表10 卒業後どこで暮らしたいか（中高生）



図表11 グループホームの入居時期（中高生）

単位：人

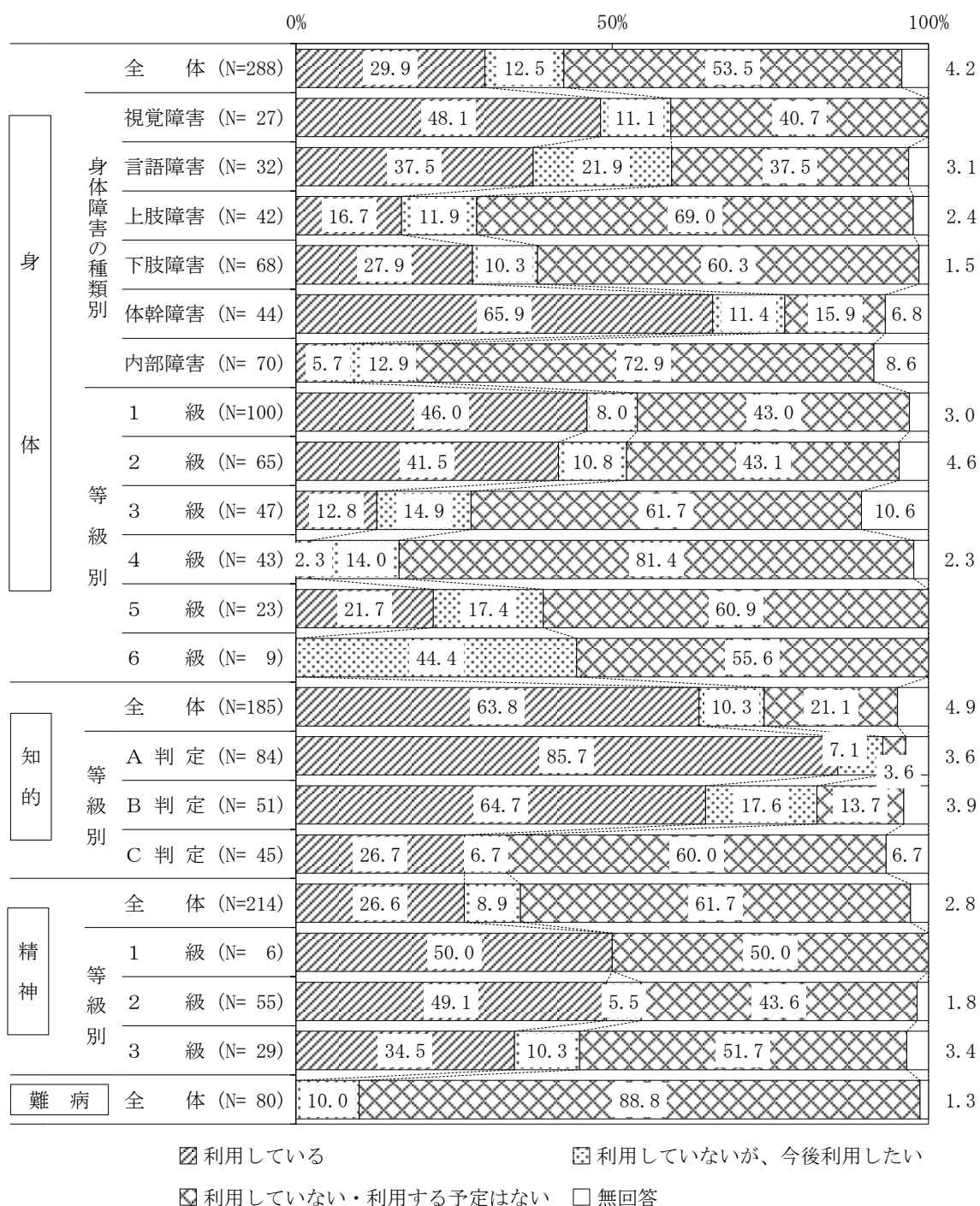
区 分		N	卒業後すぐにでも入居したい	1～2年後に入居したい	3～4年後に入居したい	5年以上後に入居したい	親などが介助できなくなったら入居したい	その他
全 体		9	2	1	3	-	3	-
性別	男性	6	1	1	2	-	2	-
	女性	3	1	-	1	-	1	-

6 サービスの利用

(1) サービスの利用状況・利用意向

障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況などをたずねたところ、現在サービスを「利用している」は、身体障害者が29.9%、知的障害者が63.8%、精神障害者が26.6%、難病患者が10.0%となっています。これに「利用していないが、今後利用したい」を加えた利用意向は、身体障害者が42.4%、知的障害者が74.1%、精神障害者が35.5%、難病患者が10.0%となります。

図表12 サービスの利用状況・利用意向



(3) 現在利用しているサービスと今後利用したいサービス

現在利用しているサービスをみると、身体障害者は、障害福祉サービスの「居宅介護」「生活介護」「短期入所」「就労継続支援A型」、地域生活支援事業の「移動支援事業」「日常生活用具給付等事業」が比較的高く、そのほかは5%以下です。

知的障害者は、「生活介護」「短期入所」「日中一時支援事業」「移動支援事業」が20%以上です。また、「共同生活援助」も10%を超えています。

精神障害者は、「就労継続支援B型」「就労継続支援A型」が6～7%台と比較的高く、そのほかは4%以下です。

今後利用したいサービスについてたずねたところ、多くのサービスで利用意向が利用率を上回っています。5ポイント以上高くなっているのは、知的障害者の「共同生活援助（グループホーム）」、難病患者の「居宅介護（ホームヘルプ）」「自立訓練」「移動支援事業」です（図表13）。

図表13 現在利用しているサービス（利用率）と今後利用したいサービス（利用意向） 単位：％

区 分		身 体 (N=288)		知 的 (N=185)		精 神 (N=214)		難 病 (N= 80)	
		利用率	利用意向	利用率	利用意向	利用率	利用意向	利用率	利用意向
障害福祉サービス	居宅介護（ホームヘルプ）	8.7	11.5	3.2	7.6	2.3	5.1	－	5.0
	重度訪問介護	1.0	3.8	－	2.7	－	1.4	－	3.8
	行動援護	1.0	1.0	7.0	6.5	－	3.3	－	1.3
	同行援護	3.1	3.5	－	1.1	0.5	1.4	－	－
	重度障害者等包括支援	1.7	4.2	1.1	2.2	0.5	1.9	－	1.3
	生活介護	7.6	5.6	30.8	9.2	－	2.3	－	3.8
	自立訓練	3.1	6.9	1.1	2.7	0.9	5.6	－	6.3
	就労移行支援	0.3	3.5	2.2	4.9	3.3	5.6	－	－
	就労継続支援A型	5.2	5.2	5.9	5.4	6.5	7.9	－	1.3
	就労継続支援B型	1.7	1.4	5.9	6.5	7.5	3.3	－	1.3
	療養介護	0.7	2.4	0.5	0.5	0.5	1.4	－	2.5
	短期入所（ショートステイ）	5.9	6.3	20.0	15.7	－	2.8	－	1.3
	施設入所支援	2.4	6.9	8.1	9.7	－	1.9	－	2.5
	共同生活援助（グループホーム）	1.0	3.8	11.9	17.8	0.5	3.3	－	－
計画相談支援（サービス等利用計画）		9.4	5.2	20.5	7.0	6.1	4.7	－	3.8
地域生活支援事業	移動支援事業	8.7	10.4	24.3	14.6	1.9	3.7	－	5.0
	日中一時支援事業	4.9	3.1	31.4	11.9	0.5	2.3	－	2.5
	日常生活用具給付等事業	8.0	8.7	0.5	2.7	－	1.4	－	2.5
	意思疎通支援事業	2.8	4.2	－	0.5	－	0.9	－	－
	地域活動支援センター	2.1	3.5	4.9	2.7	2.8	4.7	－	3.8
	訪問入浴サービス	3.5	3.5	－	－	－	－	－	－
利用していない（利用予定はない）		66.0	53.5	31.4	21.1	70.6	61.7	98.8	88.8
無回答		6.3	16.7	5.4	34.1	7.9	19.6	1.3	3.8

(4) 充実・改善してほしいサービス

充実・改善してほしいサービスをたずねたところ、全体では「就労継続支援A型」「移動支援事業」が40件以上と多く、「短期入所（ショートステイ）」「施設入所支援」も35件以上となっています。

身体障害者では、「居宅介護（ホームヘルプ）」が19件と最も多く、「就労継続支援A型」「移動支援事業」も15件以上です。

知的障害者では、「短期入所」「施設入所支援」「移動支援事業」「日中一時支援事業」が20件以上となっています。

精神障害者では、「就労移行支援」「就労継続支援A型」「就労継続支援B型」が10件以上です。

図表14 充実・改善してほしいサービス

単位：件

区 分		身 体 (N=288)	知 的 (N=185)	精 神 (N=214)	難 病 (N= 80)	合 計 (N=767)
障害福祉サービス	居宅介護（ホームヘルプ）	19	9	5	1	34
	重度訪問介護	5	4	3	1	13
	行動援護	2	6	4	1	13
	同行援護	7	2	4	1	14
	重度障害者等包括支援	3	2	3	1	9
	生活介護	12	18	3	1	34
	自立訓練	7	6	6	1	20
	就労移行支援	4	6	11	1	22
	就労継続支援A型	16	14	12	2	44
	就労継続支援B型	3	11	14	2	30
	療養介護	6	3	1	1	11
	短期入所（ショートステイ）	13	22	3	1	39
	施設入所支援	11	21	3	1	36
	共同生活援助（グループホーム）	6	13	5	1	25
	計画相談支援（サービス等利用計画）	3	4	3	1	11
地域生活支援事業	移動支援事業	15	23	4	1	43
	日中一時支援事業	8	22	2	1	33
	日常生活用具給付等事業	11	3	1	1	16
	意思疎通支援事業	7	2	3	1	13
	地域活動支援センター	4	6	5	1	16
	訪問入浴サービス	5	3	3	1	12

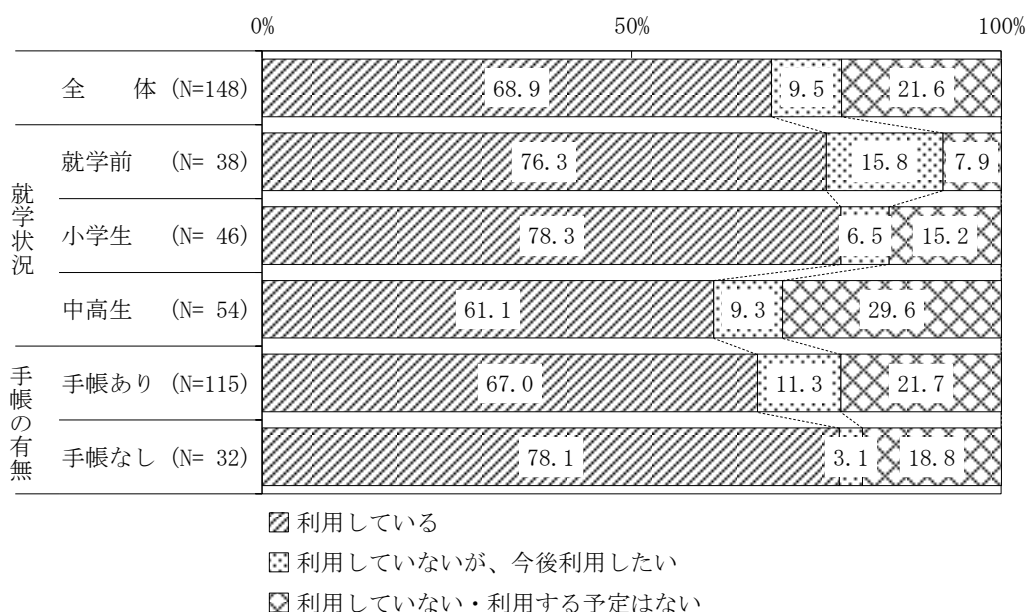
7 障害児のサービス

(1) 障害児のサービスの利用状況・利用意向

児童福祉法に基づく障害児通所支援、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスや地域生活支援事業の利用状況などをたずねたところ、68.9%が「利用している」と答えています。

就学状況別にみると、「利用している」は小学生が78.3%と最も高くなっています。就学前児童も76.3%と高く、「利用していないが、今後利用したい」も15.8%あります。

図表15 障害児のサービスの利用状況・利用意向



(2) 障害児の現在利用しているサービスと今後利用したいサービス

現在利用しているサービスとしては、就学前児童では「児童発達支援」が68.4%と最も高く、次いで「日中一時支援事業」(15.8%)となっています。

小学生では、「放課後等デイサービス」が71.4%と最も高く、次いで「日中一時支援事業」(26.5%)、「移動支援事業」(18.4%)の順となっています。

中高生では、「放課後等デイサービス」が44.8%と最も高く、「日中一時支援事業」「移動支援事業」も20%以上です。

今後利用したいサービスについてたずねたところ、「短期入所(ショートステイ)」が大幅に高くなっています。就学状況別では、就学前児童の「放課後等デイサービス」が7.9%から63.2%へ55.3ポイント上昇しています。「保育所等訪問支援」も10ポイント以上高くなっています。

図表16 障害児の現在利用しているサービス（利用率）と今後利用したいサービス（利用意向） 単位：％

区 分		全 体 (N=148)		就学前 (N= 38)		小学生 (N= 46)		中高生 (N= 54)	
		利用率	利用意向	利用率	利用意向	利用率	利用意向	利用率	利用意向
障害児通所支援	児童発達支援	20.9	5.4	65.8	10.5	10.9	2.2	1.9	3.7
	医療型児童発達支援	3.4	4.7	7.9	7.9	4.3	4.3	－	1.9
	放課後等デイサービス	44.6	28.4	7.9	63.2	76.1	13.0	50.0	18.5
	保育所等訪問支援	1.4	5.4	2.6	13.2	2.2	2.2	－	－
障害児福祉サービス	居宅介護（ホームヘルプ）	2.0	4.7	5.3	5.3	－	2.2	1.9	5.6
	行動援護	2.7	7.4	－	7.9	2.2	6.5	5.6	7.4
	同行援護	－	3.4	－	2.6	－	2.2	－	3.7
	重度障害者等包括支援	－	2.7	－	2.6	－	2.2	－	1.9
	短期入所（ショートステイ）	1.4	22.3	2.6	21.1	－	17.4	1.9	29.6
	施設入所支援	－	6.1	－	2.6	－	4.3	－	9.3
障害児相談支援（障害児支援利用計画）		29.7	10.8	28.9	13.2	41.3	2.2	25.9	16.7
地域生活支援事業	移動支援事業	16.9	20.9	5.3	13.2	19.6	21.7	25.9	25.9
	日中一時支援事業	23.0	14.9	15.8	15.8	28.3	13.0	27.8	16.7
	日常生活用具給付等事業	2.0	4.7	2.6	5.3	－	4.3	3.7	3.7
	意思疎通支援事業	－	1.4	－	2.6	－	－	－	－
	訪問入浴サービス	－	2.7	－	2.6	－	2.2	－	1.9
利用していない（利用予定はない）		31.1	21.6	23.7	7.9	21.7	15.2	38.9	29.6
無回答		4.1	27.0	－	18.4	2.2	37.0	3.7	25.9

(3) 充実・改善してほしい障害児のサービス

障害児が利用するサービスで充実・改善してほしいものとしては、「放課後等デイサービス」が47件と最も多く、「児童発達支援」「短期入所（ショートステイ）」「移動支援事業」「日中一時支援事業」も20件以上となっています。

図表17 充実・改善してほしい障害児のサービス

区 分	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	保育所等訪問支援	居宅介護（ホームヘルプ）	行動援護	同行援護	重度障害者等包括支援	短期入所（ショートステイ）	施設入所支援	障害児相談支援（障害児支援利用計画）	移動支援事業	日中一時支援事業	日常生活用具給付等事業	意思疎通支援事業	訪問入浴サービス
件数	20	11	47	5	5	6	2	－	22	4	9	23	26	3	1	－